



# 地場産業 ひょうごのじばさん



## スポーツ

### ▼スポーツ用品の出荷額は減少傾向

「工業統計調査」の産業別分類に運動用具製造業がある。ただし、ゴルフクラブ等の用具を製造する事業所が集計対象であり、ウェア・靴等は含まないので、品目別出荷額統計を加えて補完し、スポーツ用品の出荷額の推移を確かめた。

全国の運動用具製造業の2020年の出荷額は、2000年比16.8%減の309.9億円だった。同じく品目別出荷額は38.7%減の390.4億円で、用具類、ウェア類いずれも減少している。

都道府県別の計数は事業所数の関係で秘匿が目立つが、兵庫県はこの20年間で野球用具等の出荷額が4分の1、ゴルフ用具等が半分以下になるなど減少した。出荷額減少の要因として、少子化で運動部の部員数が減少したこと、ウェアを中心に海外製の安い製品に押されたことなどが考えられる。コロナの行動制限解除で余暇活動が活発化しており、スポーツ用品の需要回復が期待される。

運動用具製造業 (百万円、%、×は計数秘匿)

	2000年	2010年	2020年	2000年比
全 事業所数	885	550	442	▲50.1
全 製造品出荷額等	372,620	299,005	309,873	▲16.8
兵 事業所数	123	74	55	▲55.3
兵 製造品出荷額等	45,722	32,722	26,647	▲41.7

品目別出荷額		2000年	2010年	2020年	2000年比
全 計	合計	636,903	391,155	390,357	▲38.7
①～⑨	用具類の合計	515,354	328,269	340,501	▲33.9
⑩～⑮	ウェア類の合計	121,549	62,886	49,856	▲59.0
①	野球・ソフトボール用具	4,568	4,125	1,141	▲75.0
②	バスケットボール等用具	194	×	×	×
③	テニス・卓球等用具	3,842	×	×	×
④	ゴルフ・ホッケー用具	14,626	7,799	6,297	▲56.9
⑤	スキー・スケート等用具	×	×	×	×
⑥	トラック・フィールド用具等	147	×	×	×
⑦	釣道具、同附属品	20,370	17,053	16,501	▲19.0
⑧	その他の運動用具	37,811	14,446	23,361	▲38.2
⑨	運動用具の部分品・附属品	328	371	×	×
⑩	織物製スポーツ用衣服	2,680	×	×	×
⑪	ニット製スポーツ上衣	138	×	×	×
⑫	ニット製スポーツ用スポン等	×	×	×	×
⑬	ニット製海水着等	×	×	×	×
⑭	運動用革靴	2,094	×	×	×
⑮	スポーツ用革手袋	×	×	×	×

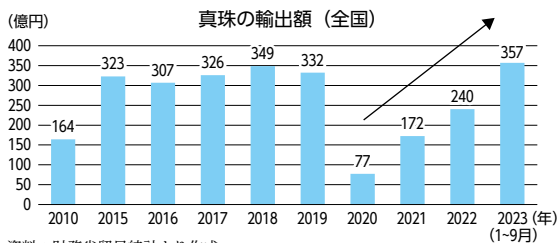
資料：経済産業省「工業統計調査」「経済センサス活動調査」より作成

## 真珠

### ▼真珠の輸出は回復傾向

真珠の輸出額は、新型コロナウイルスの影響で2020年に77億円と激減した後、回復に向かい、23年1～9月の9カ月合計は357億円と既にコロナ前の19年を上回っている。行動制限の緩和により対面での展示会開催が可能となり、出展に伴う輸出の増加が回復要因のひとつである。

例えば、23年3月には約4年ぶりに宝飾業界最大の展示会である「香港ジュエリーショー」が本格的に開催され、ジャパン・パール・パビリオンに日本企業68社が出展した。また、23年11月には「第3回ジャパンパールフェア」が開催された。同フェアは神戸が真珠取引拠点として有望であることをPRするとともに商機拡大を図るため、日本真珠振興会が22年10月より半年ごとに国内外の



資料：財務省貿易統計より作成

バイヤー向けに神戸で開催している。出展社数は回を重ねるごとに増えており、この第3回は92社が出展した。来場者の総数は1248人で、うち5割を上回る664人が海外より来場した。商談件数は856件、成約金額は20億9889万円と好調であった。次回は24年6月を予定している。

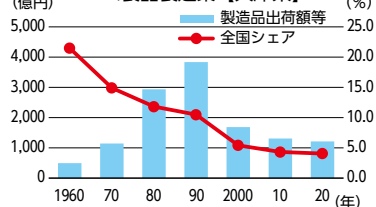
## ゴム製品

### ▼神戸はゴム工業発祥の地

「神戸開港三十年史」には明治18(1885)年に神戸に日本護謨製造所が設立され、ゴム球およびゴム枕を製造したと記されている。これがわが国初のゴム工場である。その後、明治27(1894)年にラバー商會が開業し、明治42(1909)年に英国資本によりダンロップ護謨(極東)株式会社が設立された。大正になると、ゴムベルトやゴム履物が開発されるなどゴム産業は大きく発展、兵庫県は全国一のゴム製品の産地となった。

業界は第二次大戦で被害を受けたが、高度成長期に自動車タイヤ、工業用ゴムなどが伸び、出荷額は1960～90年にかけて495億円から3833億円に増えた。しかし、95年の阪神・淡路大震災で出荷額は急減、その後も減少が続き2020年は121.3億円であった。この60年間の全国シェアは21.5%から4.1%までほぼ一貫して低下した。近年は半導体不足による自動車の生産調整の影響を受けたり、原材料価格が上昇したりするなど厳しい状況が続いている。

ゴム製品製造業【兵庫県】



※1970年と1980年は全事業所、それ以外は従業者4人以上の事業所

事業所数	出荷額 (百万円)	(%)
自動車タイヤ・チューブ製造業	2	×
その他のタイヤ・チューブ製造業	1	×
ゴム製履物・同附属品製造業	13	3,597
プラスチック製履物・同附属品製造業	10	2,743
ゴムベルト製造業	6	11,998
ゴムホース製造業	2	×
工業用ゴム製品製造業	60	43,822
ゴム引布・同製品製造業	4	218
医療・衛生用ゴム製品製造業	2	×
ゴム練生地製造業	5	3,277
更生タイヤ製造業	2	×
他に分類されないゴム製品製造業	8	3,216
合計	115	121,312

資料：経済産業省「工業統計調査」「経済センサス活動調査」より作成